

山形県の古木・名木 No.1

# 津金沢の大スギ (つがねざわのおおすぎ)

山形市大字津金沢字熊野堂317-1

山形市津金沢にあり、熊野神社の神木として雌スギと雄スギ2本あったが、1本伐採され残っているのが雌スギである。

根元の周りが9.3m、目通り8.8m、地上3.3mの部分が最も太く、周り10.5mに達する。樹高は33mで、幹は数本に分岐している。

県内有数のスギ巨木で、樹齢は約一千年と推定されている。

昭和27年に山形県天然記念物に指定されている。

〔山形県林業改良普及協会〕

(案内略図)



**山形県指定天然記念物**  
 (昭和二十七年四月一日指定)

**津金沢の大スギ**

むかしから熊野神社の神木とあがめられ、西州方に  
 もう、県の老杉があつて、ともに樹材、樹形とたえ  
 たといふ。

弘化のころ、その、本を切り倒したところ村内に疫  
 病が大流行したため神河の致すところとして神を建て  
 て供養をうけたと伝え、境内に弘化に建立の  
 大柱大明神の碑が残つてゐる。

現在するの巨樹は、根元の周り九・三  
 目通りの管間八・八m、地上三・三mの部分最太  
 太く四・五mに達する、幹は大小を数に分岐する  
 がさかたに一本の大幹がまっし、高さ四十五  
 mに上り、県内有数の大すぎの巨木であり、樹齢は  
 約一千年と推定される。

平成十二年六月  
 山形市教育委員会

【森林やまがた 25号(1999年4月)記載】